

親族確認表

記入例

・申請者と死亡者の関係がわかるように、両者の間に入る方の名前を記載してください。

(例えば、叔母の焼骨を納める場合は、申請者、父母、祖父母、叔母(焼骨)の欄に名前を記入してください)

※名前記載欄の右上の数字は申請者から見た親等数です。
民法上の親族は6親等の血族及び3親等の姻族ですので、実線で囲まれた方は6まで、破線で囲まれた方は3までの方が親族の対象です。

・枠が足りない場合は手書きで追加してください。

高祖父母		高祖父母		高祖父母	
4		4		6	
曾祖父母		曾祖父母		曾祖父母	
3		3		5	
祖父母		祖父母		従祖父母	
2		2		4	
父母		父母		叔父叔母	
1		1		3	
兄弟姉妹		兄弟姉妹		兄弟姉妹の配偶者	
2		2		2	
配偶者		配偶者		いとこ	
1		1		4	
子		子		子	
1		1		1	
孫		孫		孫	
2		2		2	
曾孫		曾孫		曾孫	
3		3		3	
甥姪		甥姪		甥姪の子	
3		3		4	
甥姪の孫		甥姪の孫		甥姪の孫	
5		5		5	

記入例: 安中花子, 安中一郎, 安中梅子, 安中太郎

※戸籍謄本などをもとに、親族関係がわかるように記載してください。

※例として記載したのは、父方の叔母の焼骨を納める場合です。
(申請者→父→祖母→叔母)